

弓達 秀樹 議員

(一問一答方式)



- ①令和7年度予算について
- ②ライドシェアの可能性について
- ③大洲市の行財政運営について

市民文化会館建設事業費について

**問** 急激な為替変動や資材単価、労務単価のさらなる高騰により、日本各地で工事の入札不調が生じている。建設費用に関して、現時点で概算事業費内に収まる見込みであるのか伺いたい。

**答** 市民文化会館の建設については、事業費は令和8年度入札までの建設物価上昇を想定し、57億円以内となるよう設計を進めてきました。しかしながら、建設工事の資材価格や労務単価等は上昇の一途をたどり、想定していた建設物価の上昇を大幅に上回っていることから、令和8年度入札時の事業費を57億円以内とすることが困難な状況にあると考えています。なお、実施設計完了時の概算事業費については、速やかに議会をはじめ市民の皆様に対して説明させていただく予定です。

新年度には入札準備として10月頃から令和7年度単価に置き換える作業などを行い、12月補正予算では建築工事に係る債務負担行為の追加予算を提案する予定ですが、近年の建設物価指数の推移を見ると、今後も上昇は避けられない状況となっています。建設物価の上昇は予測が困難で、他の様々な要因も想定されますが、これまで同様、進捗状況等の説明を行いながら、一日も早い施設整備に努めます。

南予観光振興誘客・送客キャンペーン対応について

**問** 愛媛県は、首都圏、関西圏などからの観光誘客を促進する目的で、「えひめ夏旅なんよキャンペーン」の実施を計画している。この観光振興策に対して、その波及効果を大洲圏域経済にもたらしするための対応策について伺いたい。

**答** 本キャンペーンは、愛媛県と南予9市町で構成する南予広域観光プロモーション協議会が実施するものであり、首都圏や関西圏などの若者やファミ

リー層をターゲットに、南予でしか経験できない体験コンテンツ・アクティビティにスポットを当て、6月28日から9月30日までの期間、開催します。

このキャンペーンでは、二次交通対策事業があり、周遊タクシーのシャトル運行、JRの南予周遊パス商品の販売、レンタカー情報のウェブ発信などが検討されています。ライドシェアに関しても、二次交通課題解決に向けた有効な施策の一つとして捉え、当協議会においても実証事業などができないか、今後提案していきたいと考えています。

市では、市内観光事業者がキャンペーン内の宿泊割引や体験コンテンツの割引クーポンの活用を図られるよう周知を行うとともに、事業者と旅行会社との連携に係る支援を行っていきます。また、スマホアプリを活用したおもてなしデジタルクーポンの市内事業者の参加促進を図るとともに、伊予灘ものがたりのお手ふりやあいさつ運動の啓発なども併せて行い、観光客に満足していただけるよう、おもてなしの受入れ態勢を整えていきたいと考えています。

SDGs 債券等の基金運用状況について

**問** 大洲市では基金運用において、安全性や効率性に十分配慮しながらSDGs 債権を購入することとしているが、その投資状況について伺いたい。

**答** SDGs 債券への投資については、政府保証債である日本高速道路保有・債務返済機構債(ソーシャルボンド)を昨年12月に額面で1億円分購入しています。このSDGs 債の購入は、本市が今年1月に行ったSDGs 日本モデル宣言への賛同を前に、基金運用においても従来の安全性確保、運用収益の最大化と併せ、今後は基金運用を通じてSDGs への貢献を果たすべきとの考えに基づき行ったもので、当該債券の購入に合わせ、本市が持続可能な社会の形成に貢献し、社会的使命を果たしていくことを対外的に公表するため、県内自治体の中でいち早く投資表明を行ったものです。

現在、松山自動車道伊予大洲間の4車線化が進められていますが、今回の日本高速道路保有・債務返済機構が発行するSDGs 債への投資は、高速道路ネットワーク機能の長期的な健全化の確保のための事業に充当され、地域経済の健全な発展や住民生活の向上に貢献するものと認識しています。